

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

入江、千賀、西口、山蔦、後藤

2. 山域／ルート

宮崎県 比叡山 雌鉾岳(めんぼこだけ)

3. 交通手段

車、フェリー

4. 行動記録 <入山日 2022年3月19日 下山日 2022年3月20日>

3月18日 神戸 20:30 発(車)

3月19日 1:10 八幡浜港 2:50 (フェリー) 5:15 臼杵港(船内仮眠)7:00 (車) 9:00 比叡山駐車場(トイレあり)
9:30→9:33 取付 9:50 マルチピッチクライミング→14:30 終了点→15:20 比叡山山頂→16:00 駐車場

① 山蔦・入江・後藤パーティー:比叡山1峰 南面 第1スラブスーパールート 7P

② 千賀・西口パーティー:比叡山1峰 南面第1スラブノーマルルート 8P

延岡市内のホテル泊

3月20日 5:00(車)→6:20 鹿川キャンプ場駐車場(トイレあり)

① 山蔦・西口パーティー、千賀・入江パーティー:雌鉾岳 大長征ルート(美しいトラバース+大滝左)
12P

6:45→7:30 取付 8:00 マルチピッチクライミング→14:00 終了点(雌鉾岳山頂)14:40→16:20 駐車場

② 後藤 雌鉾岳ハイキング

9:30→13:00 雌鉾岳山頂→15:00 駐車場

宮崎市内のコンドミニアム泊

3月21日 12:00 宮崎観光(鶴戸神社、青島神社など)→18:10 宮崎港 19:10(フェリー)

3月22日 7:30 神戸港

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか?

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか?

特になし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・比叡山、雌鉾岳どちらもしっかりした支点があり、ルートもわかりやすいが、雌鉾岳はボルトの間隔がランナウトしている。

・どちらのルートもカムが有効で比叡山は0.75～3番、雌鉾岳は1～3番。

・雌鉾岳では花崗岩の石英が光って、ハンガーボルトが見えにくくなることあり。特に日陰から日向に出たときに見逃しやすい。

・このエリアの岩場を開拓した三澤さん運営の「庵・鹿川」はコロナのため2022年1月21日より当面の間全面閉鎖中。

7. 感想

ひえ～

最新の飲みのパートナーごとうさんの初めてのの本ちゃんマルチにご一緒させてもらいました。口説き文句は「九州に呑みに行こう!」。入江さんと3人で助け合いながらのクライミングはチームワークとコミュニケーションの大切さを再認識

比叡山 駐車場から取付きまで1分を移動中



しました。皆さん、意思表示と意思確認はハッキリと！遠慮してたら危ないですよ！

比叡山の第一スラブ、スーパールートは初級でV+の核心は少し甘めで実際にはV-、支点もルートもしっかりしていて分かりやすく、初級者同士が初見でトライするのに程良いルートだと思います。



比叡山 第一スラブスーパールート 2P目フォローのごっとな

め〜ん

西口さん、オールつるべで12P 全てを出し尽くしましたね〜。美しいトラバースから大滝左は素晴らしい好ルートでした。スタートの3級から核心のV+まで徐々に上がるグレードはスラブの登り方を教えてくれるようにすら感じました。

核心のルート取りは直上から左上しリッジの右脇の弱点に抜けました。これはグレード通り。カムも有効で1番から3番が使えます。

下山路で見た壁の全景は達成感を増してくれました。

多少のロープトラブルがあり6時間かかりましたが、スムーズにいけば5時間で抜けられそうでした。4人全員の力が付いてきているのを確認できたのも



比叡山 取付きで登るルートの右側が前日までの雨で、まだ濡れていた

良かったです。

ヤマツタ

比叡山 第一スラブノーマルルート 3P目リードのゼニコ



宮崎 比叡山&雌鉾クラミングツアー

帰りのフェリーで記す。

白馬鑓温泉山行を天候不良で計画変更し、天候が良いエリアを検索した結果九州南部へ決定。前日にフェリー、出発当日朝にホテルを予約し、神戸を立った。

一路四国八幡浜へ。なぜか緊迫した車内、フェリーで仮眠をして九州へ

朝9時比叡山取り付き駐車場へ到着、ここから

取り付きまではなんと 30m！近い。

第一スラブノーマルルート 全 8 ピッチ まいこ&千賀
明日の雌鉾岳クラミングに備え初級コンビで登攀トレと称して取り付く。



比叡山 第一スラブスーパールート
核心6P目フォローのごっとな

比叡山 第一スラブスーパールート
4P目亀の甲羅リードのツタ



9:30 駐車場スタート。

朝一取り付きでスラブが濡れているも、「最初行きまーす」の
声にまいこちゃんから登攀開始。

少し湿っているの
と最初の登攀に緊張。

2ピッチ目は簡単なピッチに安心。
3ピッチ目ってなんだっけ？雌鉾と

その後の宴会で記憶が既に薄れている。そうだ！

まいこちゃんがあーでも無い、こーでも無いと苦心したルートだ。

はじめのルートはルーファイに苦勞する。フォローで行ってみると簡単だけど始めてのトップは怖かったらう。



比叡山 山頂



比叡山
登攀したルートをバックにマルチ
本ちゃんデビューのごっとなを称える図

そして4ピッチ目。亀の
甲羅スラブだ。先行する
山蔦班は難しいラインを
取っている。流石にこれ
は無理。少し右側のクラ
ックから行くもあまり余裕

なく、先行班にカムを入れてもらい中間支点を作ってもらい安心。その後の5ピッチ目以降はカムが決まる楽しいピッチや明るいルートを経て14時半には登頂。今はその後の楽しい山行と宴会とで快適だった記憶だけだが、明るいいいルートだった。

雌鉾岳大長征ルート全 12 ピッチ 入江&千賀

前夜の焼肉屋で1・3ピッチは私が担当することを決定！初めてのスラブ登攀だ。

朝 4 時起床。5 時に延岡を出発、取り付き駐車場に 6:20 着。いつものようにお腹の調子が良く無い。取り付き 7:30 到着。

今日も少し濡れたルートに緊張するも登攀を開始。IV 一級だが長い



1日目の晩餐は宮崎牛を堪能

ランナウトに緊張しながら完登した。2ピッチ目はフォロー。ここはIV級、どれくらい足が滑らないかちょっとアバウトに足を進めるも全く滑らない！これはいけるかも♪3ピッチ目IV級リード。ドキドキしながら右にトラバース気味に相変わらずランナウトして登攀。4ピッチ目IV-だいぶんスラブにも慣れてきた、少し余裕を持って終了。5ピッチ目IV+リード？昨日の焼肉屋ではここからはフォローかなあと思っていたが、何故かリードする事に。手も足も置き場が解らないトラバースルートを開始。行ってみると以外になんとかかなりそうだ。終了点も遠くに見える。途中で中間支点は3つあり思ったより簡単だった。6ピッチ目V級-フォロー。これってV級-あるの？

て感じでトラバース気味に右上して中央バンドへ無事到達。7ピッチ目～8ピッチ目中間バンドのトラバース。大滝左ルートの取り付に 10:50 到着。予定より早く到着できたのでお昼ご飯タイム！さあここからはさらに厳しいV級ルートだ。9ピッチ目、行ってみるかとの話に取り付いてみる。こままと違いやっぱり厳しい。右側に逃げてしまうと下



雌鈴岳
トップバッター1P目リードのせんがっち



雌鈴岳 取付きより大スラブを見上げる

から怒り狂ったリーダーが左にルートに戻れとの指示。ここからトラバースは流石に無理！リーダーはここを登るために来たのにそんな変なルートを登らせるなど大声で発狂している。流石にまずいのでここからローダウンして取り付きへ戻る。既にまいこちゃんが正規ルートで取り付いている。行かないとは言えない雰囲気にも再スタートすると猫の乳首と言われる小さな岩突起が僅かにありこれを繋いでいくと

なんとかいけそうだ。横には先行パーティーのザイルがあり心に余裕が生まれる。ちっとザイルを触ったがなんとか9ピッチ目を終えた。10ピッチ目V+このルートの核心。リーダーが突破フォローでも厳しいルート、最後ザイルが流れにくく危ないところでザイルが目の前に余っている。。岩角にザイルが挟まりなかなか引き上げられなかったらしい。さすがリーダーここを安定して突破していったことに感動し



雌鈴岳 トラバース中



雌鉾岳
大滝左ルートをリード中のゼニコ

た。11ピッチ目は左に戻るトラバース。ここもザイルが流れ難く、声通らないが簡単なルート。リードというより移動って感じ。12ピッチ目IV級+最終ピッチ。リーダーは、カムで中間支点をとって危なげなく登っていった。無事14時登頂！取り付きから6時間で釣瓶完登した。

下山後宮崎シーガイアのコンドミニアムで祝杯を上げ、午前3時まで宴会を楽しんだ。最終日、12時までホテルでマツタリし、ツアコン入江リーダー宮崎観光を楽しみ、

今宮崎港から神戸に向かう船中でこれを記す。

4泊3日宮崎山行を無事終えた。リーダーおよび急遽参加いただいた飲兵衛。他いつもの皆様。楽しく実りある山行にご一緒いただきありがとうございました。次回も是非よろしくです！！

千賀



雌鉾岳
大滝左ルート核心部をフォローで登るゼニコ



雌鉾岳 大長征ルート12P
つるべで完登！

初日の比叡は千賀さんと登った。3P目で登りやすいルートを探るのに右往左往。千賀さんに見守られながら、やっと登る。とにかくピンが遠い。時折、隣の

ルートを登っている入江さん達と合流しながら、楽しく登れた。

二日目の雌鉾は、とても美しい岩山だった。1P目から足が止まる。スラブに戸惑った。最初は傾斜が緩いので、練習しながらピッチを上げていく感じ。3P目では最後にトラバースする羽目になって、すごく怖かった。登るラインをしっかりとイメージ出来ていなかった。片足が滑った時は大恐怖。その後もトラバースが続く。難所はリードで行き、先行の入江さんに指示を貰いながら進む作戦をとった。そして



雌鉾岳 最終ピッチは唯一のクラック

最後の核心ピッチのフォローを必死に登る。結果的にまさかのつるべ登攀になった。大変だったけれど良かった。

リーダーの入江さん、一緒に同行して下さったメンバーの皆様、大変ありがとうございました！

西口

宮崎クライミング山行の感想



1日目 比叡山第一スラブスーパールート

入江さん山舘さんのマルチピッチクライミングに参加させていただきました。

マルチの経験はありますが、初めての遠征、初めて訪れる山で、とても緊張しました。

終始お二人にリードしていただき、トップロープのセカンドで安心して登れましたが、4P目の亀の甲羅スラブでのトラバースは高度感も半端ではなく、またホールドも探せず結果的に吊り上げてもらうことになりました。

核心の6P目では、離陸することすら難しくたくさんのアドバイスをもらいなんとか上がることができましたが、精魂尽き果てました。

クライミングを楽しむ余裕はありませんでしたが登り終えた頂上からの景色は素晴らしく忘れられないものになりました。

下山は一般道でしたが、さすがクライミングのメッカ、下り応えのある岩場の連続でした。

ご一緒いただいたお二人にはただただ感謝で、これからの山行にとってもよい刺激になりました。

二日目 鉾岳ハイキング

ソロで鉾岳(1277m)のハイキングを楽しみました。

奇岩や1枚岩のスラブ、清流を眺めながら登っていきます。

一般道からはクライミングをしている仲間がよく見え、わたしも同じペースで高度をあげていきます。

読図をしながら歩きましたが一般道がわかりにくく、ならば斜度の低いバリエーションを攻めてみようと思いクライミングルートがよく見える尾根を歩いてみました。

雌鉾岳の山頂までは急登で足場もよくありません。山頂からは大崩山系が一望でき、絶景を楽しめました。隣の雄鉾岳は稜線歩きで爽快です。

行動時間 5:30、行動距離 7km

後藤

3連休は雪山山行を予定していた。しかし全国的に雨予報で、天気予報とにらめっこしながら、小豆島？伊豆？四国？九州？と1週間前から転戦先を検討。そしてやっと決まったのは前日だった。

宮崎の比叡、雌鉾は私が3年半前にマルチピッチクライミングで訪れた場所。本格的にマルチを始めてまだ半年程で、あの時はなにかもダメダメでとても情けない思いをした場所だった。そしてクライミングに本気で取り組むきっかけとなった場所でもあった。いつかリベンジしたいとずっと思っていたが、とうとうチャンス到来。

1日目は比叡山。前回と別ルートの第一スラブスーパールート。マルチ本ちゃん初めてののごっとなと、頼りになるツタと組んだ。ツタと交代でリードし奇数ピッチをリードした。この日はほどよい難易度で快適に登ることができた。

私たちのルートと交差する第一スラブノーマルルートを登っているせんがっち&ゼニコさんを交差するところでは待ちながら登り、全員ほぼ同時に登攀終了することができた。



雌鉾岳 下山中、何度も登った大スラブを感慨深く見上げる

2 日目はいよいよ本番の雌鉾岳大長征ルートをせんがっちとトライした。
 3 年半前のスラブ登攀の恐怖がよみがえり、ほんとに私が核心をリードできるだろうか?と足を滑らせて落ちる姿を想像してしまう。でもこの 3 年半自分なりに頑張ってきた。自分を信じてトライするしかないと鼓舞して臨んだ。
 打ち合わせではせんがっちが 1P 目リードでスタートし 3P までつるべで行き、4P からは私が全リードの予定であった。でもせんがっちもゼニコさんも上手に登っていたので、ツタと相談し途中途中でリードを勧め、結果全ピッチつるべで行けた。1p目はフォローでも緊張し、2P 目リードは 2 カ所目のランニ

ングを見逃し、20mくらいランナウト状態となりめっちゃ緊張したが、徐々にスラブの感覚になれて進むことができた。。そしてトラバースでは前回 1 カ所恐怖ポイントがあったが、今回はわりかし快適にすすむことができ、いよいよ核心の大滝左ルートへと入った。やはり立っている。でも行くしかない。10ピッチ目 V+このルートの核心、時には数ミリの結晶にも足を乗せてしっかりスメアを効かせながら慎重に進み、核心ピッチを抜けることができた。つるべで行けたこと、前回より 2 時間以上時間短縮できたことがとても嬉しかった。また普段から練習していたメンバーだったから、急遽の山行だったが不安なく行くことができた。

2 日とも天候に恵まれ、風があり陰ると寒かったが日があると暖かった。そして 2 日とも他のパーティーがおらず、貸し切り状態だったのも良かった。



鶴戸神宮で運試し
ツタとせんがちは見事しめ縄の中に



恋愛成就の青島神社

3 日目は宮崎観光を満喫し、観光を終えた夕方から雨が降り出したのでラッキーだった。帰りのフェリーは外洋を通る航路のためかけこぎ揺れてなれるまで気持ち悪かったが、夜はぐっすり眠ることができた。
 朝、神戸港に着きそのまま職場へゴー。内容の濃いクライミングツアーとなった。
 それにしても雌鉾ではスラブ恐怖の泣きから「よっしゃ、行つたる!!!」発言のゼニコさんの切り替えがすごかった。
 みなさま、お付き合いいただきありがとうございます。
 た。

入江